

昭和二十七年

五月 会長・山田耕笹。

同三十三年

五月 会長・外山国彦。

同三十五年

九月 会長・下総皖一。

十一月 東京芸術大学の八十周年記念祝賀会で同声会功労者（一〇五名）を表彰。同大学にピアノを十台贈呈。

同三十七年

五月 会長・柴田知常。

同四十四年

十月二十七日 同声会主催 音楽教育創始九十周年記念式典を実施。

同四十五年

一月 『同声会会報』第三〇〇号発行。

同四十七年

六月 会長・井上武士。

同四十八年

四月 同声会新事業として卒業生演奏会第一回を開催（虎ノ門ホールにて五日間連続、総勢一一四名参加）。

同五十年

四月 会長・鳥居忠五郎。

同五十二年

同声会主催 東京芸術大学創立九十周年記念事業。

同五十四年

十月 同声会主催 音楽教育創始百周年記念行事を実施。記念出版として『同声会会員名簿』発行。

同五十七年

会員研究発表助成を始める（昭和六十二年年度まで実施）。

同五十九年

二月十八日・十九日 第一回邦楽講習会を開催。

昭和六十年

会長・酒井弘。

同六十一年

十二月 東京芸術大学創立百周年記念募金開始。

同六十三年

会員数七〇〇〇名を越す。

平成元年（一九八九）

四月二日「伊澤修二先生顕彰碑」建立。

同六年

六月 会長・中山富士雄。

同九年

十二月 会長代行・山田浅蔵。

同十年

東京芸術大学新奏楽堂竣工。同声会より西陣織タペストリー（原画・平山郁夫）を寄贈（百周年記念基金より拠出）。

同十一年

五月 会長・渡邊高之助。

同十四年

三月末日をもって社団法人東京音楽学校同声会を解散。

四月 東京芸術大学音楽学部同声会として新発足。

二 歴代同声会会長・理事長

会長

明治二十二年～

伊澤修二

〃 二十四年六月～

神津専三郎

〃 二十六年九月～

高嶺秀夫

明治三十年八月

十一月

三十一 年六月

三十二 年八月

三十五 年十月

三十七 年二月

四十 年六月

大正四年四月

六年六月

七年九月

昭和三年四月

十八 年二月十六

二十七 年三月十四

三十五 年八月

三十五年

三十七 年四月十七

四十七 年五月十九

五十 年六月

六十 年六月

嘉納治五郎

河内信朝

嘉納治五郎

矢田部良吉

渡辺龍聖

大島義脩

高嶺秀夫

湯原元一

湯原元一

茨木清次郎

村上直次郎

乗杉嘉壽

小松耕輔

山田耕筈

外山国彦

下総皖一

柴田知常

井上武士

鳥居忠五郎

酒井弘

理事長

大正四年四月

昭和五年

小山作之助

島崎赤太郎

昭和九年

十七 年二月十六

二十八 年三月十四

三十五 年三月十八

三十八 年四月十七

四十七 年八月十六

六十 年十二月十六

岡野貞一

萩原英一

外山国彦

柴田知常

井上武士

酒井弘

中山富士雄

三 戦前の同声会

明治・大正期の同声会に関して、数少ない学内資料の中から、昭和九年一月発行の『同聲會報』第二百号より「同好會」発会当初と「同聲會」復興当時を回顧する記事、大正四年四月発行の『同聲會會報』第一号より表紙・湯原会長就任の挨拶および「同聲會々則」、「同聲會報」第二百号に寄せて会報発行の歩みを綴った記事を転載する。

同聲會報の回顧

同聲會報は大正四年四月第一號が呱呱の聲をあげてより今月を以て第二百號を迎へる事になった。併しその名稱こそは異れ、本校創立後間もなき明治二十三年四月に、「同好會雜誌」なるものが發刊されてゐる事を忘れてはならない。

この雜誌こそ本會報の前身であつて本會報の濫觴をなすものである。實に四十五年前の事に屬する。